

茨城県民間保育協議会 青年部広報誌 「礎」 第38号

礎

ISHIZUE

Ibaraki Prefecture, private child care council youth

青年部 広報委員会
2016. 7. 21 発行号

■青年部長挨拶■

茨城県民間保育協議会青年部仰せつかっております柳澤です。今年も一年間、よろしくお願い申し上げます。昨年、新制度の導入があり、社会福祉法人改革も着々と進められ、著しく保育環境が変わりつつあります。改めてこの時期に保育園の運営の重要性を問われております。

さて、この青年部においても昨年に引き続き、この制度改革や保育士不足問題などの課題に向けて、様々な研修セミナーを各委員会が主になって計画・実施しております。特に今年は、就活応援セミナーを2会場で実施予定と初の試みで、過去水戸での開催に加え、土浦での開催に挑戦してみました。結果はどうあれ、保育士不足の解消を目的として、これからの保育士を目指す学生さんや潜在保育士の皆さんに県内にはどんな保育園・認定こども園があるのかを知っていただく機会を設けております。青年部一丸となって、今年もこの事業に向けて取り組んでおりますので、是非、会員園の先生方も一緒に未来の保育士に就職活動の支援をご協力願います。

また、会員園の後継者の方がおりましたら是非、この青年部に入部していただき、次世代を担う若人が集まり、未来を担う全ての子供たちのために最善の利益を求め、保育を学び、語らい、自己の成長も求め、共に活気あふれる活動をして行きたいと思っております。また、歴代の先輩方に尊敬の念を持ち、新しい仲間も集い、伝統のある茨城県民間保育協議会の青年部として、運営して行きたいと思っております。

それぞれ委員会にて事業を展開し、多くの方々のご参加ご尽力を賜り、今年度も一年間青年部の活動にご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

茨城県民間保育協議会
青年部長

国分台ふたば保育園
園長 柳澤 克彦



■副部長挨拶■

今期、茨城県民間保育協議会青年部副部長を仰せつかりました小美玉市ミーム保育園の萱場祐友です。皆様どうぞよろしくお願い致します。

今、保育業界は変革の時代に入っております。制度改革が行われメディアにも多く取り上げられ、良い意味でも悪い意味でも子育て世代のみならず各世代から保育業界に注目をされていることは確かです。国が掲げている制度に対応していきながらも制度にとらわれすぎず、誰の為何の為の事業なのかを忘れてはならないと感じております。

青年部も諸先輩方の様々な活動により20余年経ちます。新たな制度環境に置かれても柳澤青年部長の下、温故知新を心がけ思いを形にするべく若い力とアイデアを駆使し、より良い子育て環境が整うよう邁進してまいりたいと思っております。

茨城県民間保育協議会
青年部副部長

【全国私立保育園連盟
青年会議担当】

ミーム保育園
園長 萱場 祐友



■副部長挨拶■

今期、青年部副部長を務めさせて頂くことになりました、川又朋子と申します。皆さま、どうぞよろしくお願い致します。

今期も昨年に引き続き、柳澤部長のもと活発で、有意義な時間を皆さんと一緒に過ごせるよう頑張りたいと思っております。

昨年度から子ども・子育て支援制度が始まり、各園バタバタな1年を過ごされたことでしょうか。しかし、新しい制度での保育を実施してみて、改めて制度に振りまわされず、私たち保育者はいつも「こども」を中心に保育の在り方を大切にしていかなければならないと感じました。

少子化が加速するなか、人口減少という言葉もあちこちで耳にします。こども達を取りまく保育環境も、今後大きな変化が出てくることと予測されます。そんな時代と向き合っていく私たちは、どんな時も前向きに笑顔で過ごしていきたいですね。その為にも、青年部活動に積極的に参加頂き、多くを語り、行動し、明るい未来とこども達の笑顔を守りましょう！

茨城県民間保育協議会
青年部副部長

【日本保育協会青年部担当】

富士見ヶ丘認定こども園
園長 川又 朋子



■各委員会からの活動報告■

■調査研究委員会■

今年度も調査研究委員会の委員長を務めさせていただきます。境いずみ保育園の菊地です。私が調査研究委員会に所属し、十年以上が経ちました。こどもの育ちは変わりませんが、保育を取り巻く環境は大きく変わってきていると感じております。

昨年度は各保育所における土曜、休日保育、時間外保育の利用料についてアンケートを作成しましたが、今年度は、メディアでも話題に上ることの多い「保育士不足」について調査を行っていかうと考えております。その他、長年継続して調査している保育料基準額表、開催三年目となる就活応援セミナーのアンケート調査も行います。

県内の保育所(園)についての様々な分野の実態調査を行い、保育運営の向上に努めることを目的とする調査研究委員会ならではのやり方で、少しでも皆様のお役に立てるよう誠心誠意取り組んで参りますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

調査研究委員会委員長

境いずみ保育園

副園長 菊地 涉



■渉外委員会■

平成27年度中は皆様方のご理解、ご支援のお陰で無事に渉外委員会を運営する事が出来ました。皆様方の温かなお心遣いに心より感謝申し上げます。

今期の渉外委員会では会員相互のより良い関係の構築を根底に青年部の活性化をテーマに活動しております。平成27年度の冒頭で青年部の皆様方に向け、活性化を行う上でのアンケート調査を行いました。その結果、資質向上の為の研修と会員相互の親睦が図れる交流会の開催を同日に行い、メリハリの効いた事業をするべきであるという結論が出ました。アンケート結果に基づき、研修委員会との合同事業として青年部アカデミーを開催させて頂きました。平成28年度もすでに第2弾の青年部アカデミーを開催させて頂き、会員の更なる資質向上と会員間の絆がより強固になったと実感しております。秋口に第3弾の青年部アカデミーも開催したいと考えております。引き続き皆様方の温かなご理解並びにご支援と積極的な事業へのご参加をお待ちしております。

渉外委員会委員長

清心保育園

理事長 清水 利春



■研修委員会■

お世話になっております。

青年部研修委員会の委員長を仰せつかっております。泉ヶ丘保育園の渡辺謙です。

研修委員会では今年度、第2回となります青年部アカデミーを渉外委員会さんと合同で開催し、たくさんの方の皆様に参加して頂きました。

また今後も青年部員の資質向上と、絆をより深められるような行事を企画して参ります。今後も皆様のご協力、またご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

研修委員会委員長

泉ヶ丘保育園

副園長 渡辺 謙



■特別委員会■

昨年度に引き続き特別委員を拝命いたしました、安藤です。昨年度は予定していました、埼玉幼稚園団体との交流会が日程の都合上今年度始めに開催となり皆様方には大変ご迷惑をおかけしました。

遠方での園訪問・情報交換会ではありましたが、たくさんの方の意見交換ができ参加された皆様方には有意義な時間を過ごせて頂けたと思います。

今年度は十一月頃を目途に勉強会・懇親会などを予定しておりますので皆様方ご参加の程よろしくお願いいたします。今年度もよろしくお願いいたします。

特別委員会委員長

こばと保育園

副園長 安藤 伸泰



■ 広報委員会 ■

広報委員会では、広報誌「礎」の発行を担当しております。作成にあたっては、必ず広報委員会として編集会議を開き、担当者を決めて、作業を分担しながら行っています。原稿集めや記事づくり、取材等を通じて、委員会内外の部員同士での連絡をとりあうなかで、コミュニケーションをはかっています。「礎」作成過程での組織強化・人材育成といっは言い過ぎでしょうか？ 青年部活動のお役に立てればと考えています。

後継者という立場が多いと思われる青年部の特性を踏まえ、共通の認識、利益とは何かを意識し、活動しています。「礎」発行の他に、「プレゼンテーション」も広報に含まれると考え、研修会を2回開催し、問題意識、危機意識の共有を進めています。

広報委員会委員長
真壁保育園
副園長 長谷川 夏生



6/30 オーラルプレゼンテーション研修会！

プレゼンテーション研修会とは、園児獲得または保育士確保を目的として行うトレーニング研修です。研修内容は、マインドマップを使っての自園分析やプレゼンテーションの定義、心得を学び実践練習をします。今回の研修会では、長谷川委員長ご推薦の元、アシスタントとして参加致しました。講義や説明会などは度々参加していますが、アシスタントとして人前で話す経験がなく不安な気持ちのまま引き受けました。

研修会に向けて、講師をされる清水先生と入念な準備、リハーサルを行いました。そして何度も何度もリハーサルを行っている内に、ただ伝えるのではなく、自分の気持ちや思いを込めて伝えることが大切だったことに気づいたのです。研修会当日は、自信を持って参加者の皆様にプレゼンテーションの心得について伝えることができました。

研修を終えて、改めて「人に自分の思いを伝えるのは、大変なこと」と痛感致しました。でも、伝えるコツを知れば簡単なのです。今回オーラルプレゼンテーション研修では、後継者の先生だけではなく保育士や事務員の先生も参加して頂きました。

実践練習

マインドマップ



つくば保育園 副園長 滝田 昌弘

「山とピアノと私」

今回、広報委員長の長谷川先生より「山とピアノと私」と先にお題を振られましたので、恐縮ですが書かせていただきました。

数年前から、幅広い年齢層で「山登り」や「トレッキング」を楽しむ人たちが増えているように感じます。理由はいくつかあると思いますが、山歩きの魅力もその一つでしょう。頂上や目的地などにたどり着いた時の達成感や感動。また自分の足で歩くことで、自然の香りや風を感じられる。また、現代のストレス社会において、自然から得るマイナスイオンを全身で浴び、鳥や虫の声、川の流れる音を聞くことで癒しを感じることもできるでしょう。

また、皆さんの身近にある楽器「ピアノ」ですが、これもとても魅力あるものです。1709年にイタリアのクリストフォリが発明し、その後19世紀半ばごろに現在のようなピアノへと改良されていきました。バッハやヘンデルなど、バロック時代に活躍した弦を爪ではじく楽器「チェンバロ」と違い、ハンマーフェルトが弦を叩く楽器「ピアノフォルテ」が開発されると、音の強弱や音域などが広がり、ショパンやリストなど数多くの表現豊かな名曲が生まれました。私事ですが、ピアノ調律師（修理師）として今年で25年になりますが、今まで沢山の方と音楽を通して出会うことができました。ピアノは、演奏者によって全く違う表情や色を見せてくれます。

また、「2016年本屋大賞」に宮下奈都さんの「羊と鋼の森」が選ばれ、主人公の調律師が様々な人たちとの出会いで成長していく内容にとっても共感しました。保育園の子どもたちも、沢山の体験や経験を通して「好奇心・探求心」をもって成長して欲しいと願っています。



青年部事務局長 つくし学園 副園長 鬼澤英二

青年部アカデミー活動報告

6月10日(金)に開催された「茨城県民間保育協議会青年部第2回青年部アカデミー～法人ハザードマップ・あなたの避難経路はここだ！！～」の研修委員会並びに渉外委員会の合同研修会に参加して参りました。第一部の研修では、社会福祉法人の会計に携わっている講師の黒澤匡史氏をお招きし、「社会福祉制度改革～生き残る法人になるには～」をテーマに講義して頂きました。



茨城県民間保育協議会青年部 研修会 2019年6月10日

社会福祉法改正に伴い、地域における公益的な活動、役員関係者への利益供与の禁止、事業運営の透明性の向上、行政の関与、退職手当共済制度の見直しそして、一番の要点でもある経営組織の見直しとして評議員会があり、29年度改正に対して準備することや、危険性など把握した上で、これからの山積みな取り組みの課題の見通しが出来ました。

第二部では、情報交換会BBQでは、ビーチバレーボール大会を開催され、白熱した試合や豪華景品で大盛り上がりでした。第三部の温泉交流会では、もっと、絆が深まり、研修で学んだ色々な質疑を弁論したりして有意義な機会になりました。青年部の会員同士の親睦が深まり、貴重な時間になりました。このような企画・研修に参加ができ、携われた諸先生方、本当にお疲れ様でした。

のぎく保育園 副園長 植竹 文人

視察研修会(桂愛幼稚園・岩槻さくら保育園)報告

当日は大変暑い日になりました。趣向をこらした起伏の中に自然あふれる園庭に子どもたちが元気いっぱい飛び出すと思いきいの遊びをし、時折見知らぬ私たちを珍しそうに見つめては笑顔で話しかけてくれます。園庭の中央には旧式の真っ赤な円柱型ポストがおりてあり、当初は遊具として郵便屋さんごっこなどの遊びの広がりを目論んで置いたものの実際の郵便物を投函してしまう子どもの祖父母が多く、今は使用を禁止オブジェ化しているとのことでした。そう言ったどこか微笑ましいエピソードも一つの魅力と感じられる所が保育園や幼稚園という場にはあります。訪れた桂愛幼稚園は昭和52年創設の岩槻市では最古参の幼稚園。長い歴史の中で園の至る所に積み重ねられたであろうこういった無数のエピソードが雰囲気と言葉では見えない豊かな律を生み出しているのを強く感じる事ができます。



理事長を囲んでの懇談会では、対新制度の各種問題、雇用や労働環境の問題等、現在どの園も避けて通る事は出来ない非常に厳しい現実とただ只管に危機感を共有しましたが、近視眼的に右往左往する私たちをしり目に、長い運営の歴史を深く刻んだ理事長の穏やかな表情からは「それも長い保育運営の中の一つのエピソード」とどこか乗り越える勇気をいただきました。岩槻市は370年前より続く人形の町です。

清恵保育園 園長 浅井 道浩

いばらき民間保育園就活応援セミナー！

今年は、会場を土浦市と水戸市の2カ所に分けて開催することになり、7月10日(日)には土浦会場(茨城県県南生涯学習センター)にて128名の参加者(学生・潜在保育士)を32法人45園がお迎えをし、盛大に開催致しました。



パネルディスカッションでは参加者からの質問も多数受けながら、現役保育士の生の声を届けることができ、講演の井上真里先生のお話では一般社会の現状をお伝えして頂きながら、就職活動に対する心構えや考え方についてお話頂き、参加者の意識に変化をもたらさせて頂きました。また、最後の各保育園ブースでの個別説明会では各園が参加者に対し、自園のアピールや説明を行い、両者にとってとても有意義な時間となりました。

今回は8月28日(日)に水戸会場(茨城県総合福祉会館)にて同内容にて行います。今回はブースを出されない法人様も是非、ご見学にいらして頂けると幸いです。

まつやま大宮保育園 園長 松山 圭一郎

副部長を終えて...

■茨城県民間保育協議会青年部前副部長 ■【日本保育協会青年部担当】

この度、日本保育協会青年部の改選に伴い日本保育協会茨城県支部の青年部長を退任させていただきました。それに伴い、茨城県民間保育協議会青年部の日保担当副部長も交代することとなりました。県民間保育協議会青年部と日本保育協会青年部の任期がずれているため県青年部の任期途中での交代となってしまうご迷惑をおかけいたしますが、今まで8年間皆様には大変お世話になりました。

青年部に出はじめたのは20代の後半だったと思います。前職は保育と関係のない仕事をしていたので、当時は本当に保育について右も左も分からない状態でした。そんな時に地元の園長先生に声を掛けていただき、顔を出してみないかと言われたのが民保協青年部でした。最初こそ緊張していましたが、話をしてみると同じような悩みや考えを持った同年代の先生方がいて、その悩みを相談する諸先輩方もいて、今まで楽しく青年部活動させていただきました。これで県青年部の副部長は退任しますが青年部活動は続けて参加させていただきますので、これからどうぞよろしくお願い致します。

日の出こども園 副園長 塙 信晋

卒業生から一言

「このほど、3名の先輩方が、めでたく民保協青年部を卒業されました。これまでのご活躍に深く敬意を表するとともに、これまでの後輩への温かいご指導に心より感謝申し上げます。以下、卒業された先生方から現役の皆さんへメッセージを頂きましたので、この場をお借りしてご紹介します。今後とも、一人一人が「青年部に入部してよかった!」と心から感じて頂けるような青年部を目指していきたいと思えます。(柳澤)」

石田保育園

園長 新井 平一



私の青年部の思い出は、調査研究委員会です。忘れもしません。とまりの研修会で、萱場先生、川崎先生に挟まれ、「調査研究委員長」をやれと言われ、断われず、それから、6年間調査研究委員長をやりました。人に言えないことやここに書けないこともたくさんありますが、青年部で広がった関係は、自分を一回りも二回りも大きくしてくれたと思います。今の青年部は部長の柳澤先生を中心にまとまっていると思います。みなさんも自分一人で考えるだけでなく、青年部でいろいろな人に相談してみると良いと思います。今後の青年部の発展と皆さんの活躍をお祈りしています。

あかつき保育園

園長 佐藤 昌彦



この度、卒業となりました。認定こども園あかつき保育園佐藤昌彦です。思い起こせば、平成15年度から副園長として保育園の仕事に携わるようになり、間もなく青年部の一員として皆様とご一緒させていただくことになりましたが、早いもので12年が過ぎてしまいました。この間青年部の様々な活動を通してたくさんの先生方と知り合うことができ、いろいろな意味で立場の近い先生方でしたので、非常に有意義な時間を持って、今園長として何とか園を運営できているのも皆様からのご助言・ご指導のおかげと感謝しています。今現役で青年部活動を一生懸命頑張っている皆様の今後のご活躍をご祈念申し上げます。本当にありがとうございました。

矢田部保育園

園長 西條 健一



この度、卒業となりました。矢田部保育園の西條です。自分は、青年部に在籍していましたが、活動に参加する事無く数年前の茨城大会位から少しずつ参加するようになりまして、青年部の活動期間としては、本当に短いのですが、今思うと、もっと前から参加していたら良かったと思っています。

色々な方とお話しをさせてもらって、皆様の保育感だったり、活動を聞いて、自分も頑張らなければという気持ちになりまして、すごく刺激になりました。

これからも青年部の皆様の活動を応援していきたいと思えます。

どうもありがとうございました。

書評

「保育崩壊」で保育界に衝撃的な一石を投じた、ひたちなか市出身の小林美希さんの次作。これまた表題を見ただけで「ウー」と唸ってしまう作品です。前作「保育崩壊」で展開した、保育界で見て見ぬ振りをしてきたこと、我々保育者が子どもに良かれと実践してきたことを、利用者視点でバツサリする切り口は相変わらず健在です。しかし本作でちょっと違うのは、夫婦のあり方をもう少し愛を持って観ている点でしょう。まず世の夫諸君に伺いたい、書店でこれが平積みされていたら手に取りますか？購入しますか？その勇氣がありますか？

本作を読んだ知人は、異口同音「そりゃ、時々死んでしまえ！って思うことはあっても本当に死なれちゃ困るわよ！」「あそこまでじゃないわ」の一方で、「私も死んでしまえと思いつめたことはある」もチラホラ。決して他人事ではないのです。その気持ちを生む原因は様々ですが、総じて小さな不満がすこーすこーずつ溜まってゆきいつか、バケツの水が一斉に溢れるように「ーン！」と押し寄せて来る、「離婚するのは面倒だ、いっそ死んでくれれば...」さてさて、あんまり恐ろしい話ばかりではむしろ読みたくなってしまいますね。要は、そうならないために夫婦はどのようにコミュニケーションを図るかということなのです。自分の一方的な行動で勝手に満足するのではなく、その都度よく話し合い互いに感謝の気持ちを忘れずにいれば決して本作のようなことにはなりませんよ、と。でも面と向かって「さ、いまから〇〇についてお互いに言いたいことを言おう」は恥ずかしい。そこでどのタイミングで妻が不満に思い苦しんでいるのか、これを読めば手に取るようにわかります。私たちお得意の“事前準備”と“予防”でこの危機?!を乗り越えましょう。

瓜連保育園 副園長 小笠原 聖華

夫に死んでほしい妻たち
小林美希著 朝日新書



四コマ漫画



うんうん! あるある!!

玉里第二保育園 作

組織変更について

平成28年度より青年部組織が一部変更となりましたので、お知らせします。

- ・富士見ヶ丘認定こども園 川又 朋子 先生が、青年部副部長(日保協担当)に就任しました。
- ・日の出こども園 塙 晋信 先生が、青年部副部長(日保協担当)を退任、日保協担当となりました。
- ・泉ヶ丘保育園 渡辺 謙 先生が日保協へ出向し、全国出向者へ加わりました。

今後の予定について

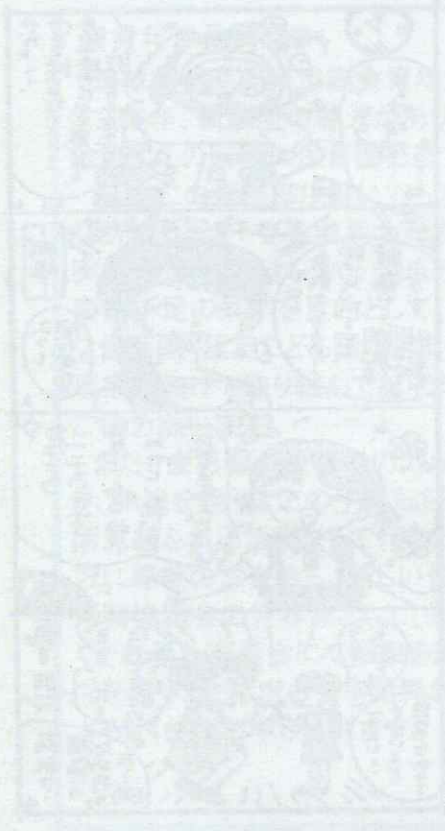
- いばらき民間保育園就活応援セミナー土浦会場 7月10日(日)無事終了しました!
- いばらき民間保育園就活応援セミナー水戸会場 8月28日(日)
- 日保協全国青年保育者会議岡山大会 9月7日(水)~9日(金)
- 全私保連青年会議沖縄大会 10月27日(木)、28日(金)

第58回関東ブロック保育研究大会茨城大会
平成29年7月6日(木)、7日(金) 茨城県立県民文化センター

茨城県民間保育協議会青年部 広報委員会

委員長 真壁保育園 長谷川 夏生	編集委員 大宮聖愛保育園 後藤 貴哉	勝田あすなろ保育園 大谷 美和子
副委員長 さしま保育園 中川 祐一	串挽保育園 山崎 公蔵	ほうとく保育園 桜井 みな
副委員長 つくば保育園 滝田 昌弘	玉里第二保育園 戸田 見良	旭保育園 浅倉 涼二
		とりのす保育園 藤枝 明人

国文の発展



国文の発展

国文の発展

国文の発展

国文の発展